

# 文京区立第九中学校 校長室通信

## 「文京九中 ここにあり」



平成29年度 第1号  
平成29年4月12日発行



文京区立第九中学校 校長 小 椋 孝  
■ TEL 03-3821-7178 ■ FAX 03-5685-4955  
■ HP <http://www.bunkyo-tyk.ed.jp/daikyu-jh/>

平成29年度がスタートしました ～今年度もどうぞよろしくお願ひ申し上げます～

先週の金曜日〔7日（金）〕に99名の新入生を迎え、記念すべき平成28年度第71回入学式を挙行しました。保護者、地域の皆様方にも多数ご参列いただき、とてもよい式典にすることができました。在校生の態度もとても立派で、新入生の皆さんは、緊張の中にも中学校生活への意欲をより一層ふくらませることができたことと思います。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。下欄に入学式の式辞を掲載させていただきましたので、ご一読いただければ幸いです。

また、異動の状況を含めた教職員の体制を終面に掲載しました。「生徒も保護者も『通って良かった』と実感できる学校を目指して～何事にもひたむきに取り組む九中生～」を大目標として、今年度も「活力みなぎる学校づくり」及び「かけがえのない仲間づくり」の実現を目指して教職員一丸となって取り組んでまいりますので、今年度もご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年度在籍生徒数  
(4月1日現在)

	男子	女子	計
1年	47	52	99
2年	58	50	108
3年	57	54	111
計	162	156	318



### 式 辞

はっきりしないあいにくの天候ではございますが、天祖神社、富士神社、そして本校校庭の桜も今が盛りと咲き誇る中で、多くのご来賓・保護者の皆様、そして在校生の皆さんのご協力により、温かく和やかな雰囲気に入れられ、清らしい気持ちで入学式を挙行できることを大変うれしく思います。

第九中学校は、11月1日に創立70周年記念式典を挙行いたしますが、本日、ここにその節目となる第71回の新入生99名を迎えました。教職員、在校生を代表して、新入生の皆さんを心から歓迎いたします。また本校は、正式には「文京区立第九（だいく）中学校」、略す際は「九中（きゅうちゅう）」と称されますが、皆さんは、いよいよ今日から「九中生（きゅうちゅうせい）」の一員として、新たな生活がスタートいたします。

皆さんが生きていくこれからの世の中は、グローバル化や情報化がより一層進み、複雑でなおかつ変化が激しく、いつ何が起ころか誰にも分からない時代を迎えると言われ、課題解決のためには、個々の力を結集することが必ず求められていくと言われていきます。そのため、様々な文化や個性をもつ人たちが、従来から存在する垣根を越えて、その多様性を認め合いながら互いの良さを融合させて高め合い、課題解決を図りながら新たな価値を生み出していくことが求められると考えられます。

本校では、一人一人が安心して力を発揮できる環境づくりのもと、学習はもちろんのこと学校行事や生徒会活動、部活動などで、みんなが努力し、みんながそれを認め、支え合い、高め合っていくことで共に成長していく学校づくりを目指しています。また、3年生が学校全体をリードし、2年生がそれを支え、1年生もそれにならって一生懸命頑張っていく中で、学校全体でより良いものを創り上げていこうとする「よき伝統」が脈々と受け継がれています。本校生徒のイメージを表す言葉は、「何事にもひたむきに取り組む九中生」です。新入生の皆さんも3年間の「活力みなぎる学校生活」を通して、積極的に協力や信頼、団結の絆を深め、「かけがえのない仲間づくり」の実現を目指し、中身の濃い学校生活を送り、これからの社会を生き抜く力の基盤を身に付けていくことを願っています。優しい先輩、頼りになる先生方と共に頑張っていきましょう。

また、これらの実践を通して培われた力は、「共に生きる」という共生社会の実現に向けて、非常に重要な力になると考えています。本校では、特別支援学級六組との「交流及び共同学習」を推進するとともに、全ての教育活動を通じて全校体制で「共に学び、支え合い、高め合う」姿勢を大切に、共生社会の実現に向けて努力してまいります。

結びになりますが、保護者の皆様方、教職員一同、新入生の皆さんの3年間の「学び」と「育ち」に、責任をもって全力で取り組むことをお誓い申し上げます。また、創立70周年を期して、今年度から新たに「コミュニティスクール」、日本語では地域運営学校と言われる歩みを新たに開始いたします。地域の皆様方、今まで以上に地域のご期待を真摯に受け止め、地域と共に歩む「地域ぐるみの教育」を推進してまいりますので、引き続きご支援をお願い申し上げます。

ここに、晴れやかに節目の日を迎えた99名の新入生の今後の健やかな学びと育ちを祈念し、式辞といたします。

平成29年4月7日

文京区立第九中学校長 小 椋 孝

## 九中の特色！「新聞への意見文」投稿 ～28年度3学期掲載分の紹介（その3）～

本校では、国語の発展的な学習として文章をまとめる力を育成することや若者の意見発表のよい機会として、新聞の投書欄への投稿を勧めています。今年度も、行事や学校生活への思い、日頃感じていることなどを投稿し、平成28年度には延べ30人の生徒の意見文が新聞各紙に掲載されました。

自分自身の考えを明確にして発信することは、自ら考え、判断し、行動する力の基盤となります。短い文章の中に、物事を正しくとらえた上で、感じたことや意見を表すことは、大人でもなかなか大変なことですが、掲載された文は、これらのことをしっかりと自分自身の言葉で表しています。

平成28年度3月中旬に28年度最終版を紹介しましたが、未掲載及びその後に掲載されたものがありましたので、ここに紹介させていただきます（近日中に28年度掲載分をまとめてホームページに掲載いたします）。

### ※ 東京新聞「若者の声」 平成29年3月9日（木）掲載

#### たばこ吸う人 マナー守って

中学生 伊関 万結（13） 東京都文京区 [1年3組]

毎日、道に落ちているたばこの吸い殻を目にする。随分前から、ポイ捨て禁止運動や、歩行喫煙禁止運動があり人々の意識は高まっている。罰金を払わせる地域もある。一方、隠れてポイ捨てや歩きたばこをしている人もいる。

なぜたばこを吸うのか、よく耳にする理由は「気分がよくなるから」「やめられない」などだ。私の親戚もたばこを吸う人が多く、家庭環境的に習慣付いている。「習慣を直そう」という意識をもち、たばこの害を知ることが大事だ。すると自然に喫煙者は減っていくのではないかな。

たばこは周りの人にも影響する。喫煙者は非喫煙者への配慮が必要だ。喫煙者が減り、マナーを破る人がゼロになることが、私の一番の望みだ。

### ※ 毎日新聞「みんなの声」 平成29年3月17日（金）掲載

#### 日本の友達を増やしたい

中学生 程 祢涵（13） 東京都文京区 [1年1組]

中国から日本に来て、もうすぐ10カ月になります。時間が過ぎるのは、とても速いです。

日本に来た当初は、日本語がまったく分かりませんでした。日本の友達はすぐにはできませんでした。授業のときは、何も分からなくてただ眠かったです。少したって日本語がちょっと分かるようになったら、一人、二人と友達が増えました。一緒に遊んだり、勉強をしたり、歌を歌ったりしました。一番楽しかったことは、ハケ岳に登ったことです。友達と一緒に山に登り感動しました。お弁当を食べたり、おしゃべりをしたりして楽しかったです。今は日本語がだいぶ分かるようになりました。友達も増えました。困ったときに友達に聞くと、親切に教えてもらえます。不安が少なくなり、とても感謝しています。今は、とても学校が楽しいです。これからも日本語の勉強をがんばって、日本について理解したいです。

### ※ 産経新聞「ひこばえ倶楽部」 平成29年3月20日（月）掲載

#### お互いの長所を探し合おう

中学生 林 絵玲奈（13） 東京都文京区 [1年1組]

道徳の授業で、いじめについてクラスメートたちと考えた。そこで私は、いじめはたくさんのケースがあることを知った。単なる風評被害でいじめにあっている人もいるという。あってはならないことだ。

私の周りでもいじめが起きているのかもしれない。決して人ごとのように考えてはいけなかった。

私は、一人一人の個性と考えていることが違うから、いじめが起きてしまうと考えている。だからといって、人をいじめて良いことは何もない。お互いを見つめ直して、相手の良いところを見つけて少しでも好きになれるよう心がければ、いじめは起きないと思う。「嫌い」が「苦手」に変わる小さな変化だけでも、大きな進歩だと思う。

いじめたりいじめられたり、私は経験がないので、その立場にいる人の気持ちは正直、よくわからない。でも、好きな人とも苦手な人とも、常にリラックスした関係でいられるよう努力したい。

※ 東京新聞「若者の声」 平成29年3月23日（木）掲載

笑顔で走れる 自転車の道を

中学生 染谷 日百合（13） 東京都文京区 [1年2組]

私は毎日、自転車に乗っている。あるとき、歩道を走っていたら、前に音楽を聞きながら歩いている人がいた。「危ない」と思ったが、イヤホンをしていた人は私に気付かず、自分が車道に出てしまったことがあった。

自転車は、車道を走るべきなのか、歩道を走ってもいいものなのか、私はいつも考えている。「車」という字が入っているから車道を走るのが基本なのだろうが、車道は駐車している車を避けて走らねばならず、歩道を走るより危険なのだ。

自転車が安心して走れる道を作ってほしい。そうすれば交通事故を減らすことができると思う。私が望んでいるのは、歩く人、自転車をこぐ人が笑顔で通れる道ができることだ。

※ 毎日新聞「みんなの広場」 平成29年3月24日（金）掲載

もろくて弱い人間の心

中学生 服部 滯（14） 東京都文京区 [2年1組]

先生が生徒に「菌」をつけて呼んだことについての本欄「『一言の重み』考えてほしい」（昨年12月18日）に共感した。

私は小学生のとき、ひどいあだ名をつけられたことがある。我慢していたが、ある日怒りを抑えきれなくなって爆発し怒鳴ってしまった。その日から言われることはなくなったが、友達が離れていってしまったように感じた。中学生になりまた同じようなあだ名で呼ばれ始めた。「今度は怒らないように」と思って我慢していたが、心がつらく苦しかった。勇気を出して先生に言った。先生はまじめに聞いてくれた。家に帰ると母から「つらいことがあったら言うのよ」と言われた。先生から聞いたそうだ。私はその日から言いたいことは言うようになった。怒鳴るのではなく優しくだ。

人間の心はもろくて弱いものだ。軽く言ったつもりでも言われた方は重く受け止めてしまう。たった一言で人間の心は崩れてしまうのだと、心に刻んでおいてほしい。

## 4月・5月の主な予定

### 【4月】

- 6日（木）始業式
- 7日（金）入学式
- 11日（火）生活指導集会
- 13日（木）部活動紹介
- 15日（土）土曜授業公開、保護者会
- 17日（月）委員任命式
- 18日（火）区学習定着度調査（1年）  
全国学力調査（3年）
- 21日（金）PTA役員会・委員総会・各委員会
- 26日（水）身体計測
- 28日（金）防災宿泊体験（2年）～29日（土）

### 【5月】

- 1日（月）開校記念日
- 2日（火）離任式
- 9日（火）音楽鑑賞教室（3年・6組）  
PTA役員会・常任委員会
- 10日（水）教員の研修会のため午前中授業
- 13日（土）土曜授業公開、PTA総会、部活動保護者会
- 19日（金）PTA歓送迎会
- 22日（月）教育実習始
- 25日（木）運動会予行
- 27日（土）運動会 ※ 雨天の場合は振替休
- 29日（月）運動会振替休業日 業日も連動して順延

### <お知らせ>

今年度は、夏季休業期間中に校舎内の快適化工事が行われる関係で、従来は夏季休業日に実施していた三者面談を1学期中に実施する予定です。そのため、授業時数確保のために開校記念日〔5月1日（月）〕を授業日として授業を実施しますので、ご理解、ご協力いただけますようお願い申し上げます。



## 平成29年度 教職員紹介

退職・転出及び転入・新規採用の方の詳しいご挨拶は、後日学校日より「藤咲く丘に」でお知らせします。

### ■ 退職・転出（ありがとうございました）

職名等	氏名	転出先等
主任教諭（数学）	伊藤 善樹	文京区立第六中学校
主任養護教諭	熊谷 雅子	板橋区立高島第一中学校
主任教諭（特別支援教育）	加藤 涼子	文京区立文林中学校
教諭（理科）	木村 純一	ご退職
教諭（特別支援教育）	岩井 のどか	ご退職
特別支援教育担当指導員	竹野 大悟	ご退職
交流及び共同学習支援員	鈴木 章一	文京区立駒本小学校
図書館支援員	税所 紀子	渋谷区に派遣
家庭と子どもの支援員	白木 泰子	ご退職
ALT	アントニー・ベントン	エリア・マネージャーに昇格

### ■ 昇任・転入・新規採用（よろしくお願ひします）

職名	氏名	前所属等
指導教諭（美術）	蓮見 弘実	ご昇任
主任教諭（数学）	深沢 行一	葛飾区立新宿中学校
主任教諭（特別支援教育）	千葉 孝充	江戸川区立松江第一中学校
主任養護教諭	丸山 かよ	北区立王子桜中学校
教諭（理科）	酒井 千恵子	葛飾区立常盤中学校
教諭（特別支援教育）	郡司 安祐美	新規採用
非常勤教員（保健体育）	松井 直子	港区立御成門中学校
特別支援教育担当指導員	笠井 集	新規採用
交流及び共同学習支援員	片石 健太	新規採用
図書館支援員	加藤 由理	文京区立本郷台中学校
家庭と子どもの支援員	未定	
ALT	カテリーナ・ウエノ	区内小学校複数校

### ■ 平成29年度の体制

学年・担任等	職名	氏名	教科等	主任等	役職等	氏名	
	校長	小 椋 孝	経営		事務（都職員）	湯川 恵里	
	副校長	伴 太 牧	経営		事務（区非常勤職員）	両角 秀子	
1年	1組	主任教諭 澤 雅 敏	理科	第1学年主任	栄養職員（都）／給食主任	岡野 陽子	
	2組	主任教諭 深沢 行一	数学		用務（区職員）	平井 資浩	
	3組	教 諭 新田 佑介	国語		用務（区雇用職員）	石井 ひさ子	
	6組	主任教諭 千葉 孝充	特支	6組主任 特支コ	用務（区非常勤職員）	夏迫 義文	
	副担任	主幹教諭	藤田 知則	社会	教務部主任	SC（都派遣）	増永 郁子
		主任養教	丸山 かよ	養護	保健主任 特支コ	SC（区派遣）	高木 義弘
		主任教諭	丸橋 秀哉	英語	ICTリーダー	特別支援教育担当指導員	笠井 集
	教 諭	大樂 亜沙美	保体	特支コ	交流及び共同学習支援員	井口 知世	
2年	1組	主任教諭 川 邊 崇	数学		交流及び共同学習支援員	片石 健太	
	2組	教 諭 大野 晴香	音楽		家庭と子どもの支援員	未定	
	3組	教 諭 岸田 悠	英語		図書館支援員	加藤 由理	
	6組	教 諭 郡司 安祐美	特支		理科講師（区・都特支）	石川 郁士	
	副担任	指導教諭	黒田 久美子	国語	第2学年主任	保体講師（区・都特支）	山野 俊作
		主任教諭	滝澤 寛通	保体		講師（区特支）	
		教 諭	酒井 千恵子	理科		保体講師（都特支）	遠藤 修平
3年	1組	教 諭 藤井 拓也	保体		講師（区特支）		
	2組	指導教諭 田中 久美子	英語	第3学年主任	技術講師（都）	佐久間 博文	
	3組	主幹教諭 土屋 純一	数学	学習・進路指導部主任	家庭講師（都）	柴田 桂子	
	6組	主幹教諭 三浦 功雄	特支	生活指導部主任	家庭講師（都特支・区特支）		
	副担任	指導教諭	蓮見 弘実	美術	進学指導担当主任	英語講師（都・区）	森 暁平
		主任教諭	島崎 靖雄	社会		英語講師（都特支）	犀川 幸恵
		非常勤教員	木村 邦子	理科		講師（区／特支）	名取 正子
全体	非常勤教員	松井 直子	保体		講師（区／特支）	奥原 直毅	
ALT		カテリーナ・ウエノ					

※ 特支コ・・・特別支援教育コーディネーター

- 数学、英語の授業を習熟度別少人数制で実施します。
- 理科、保健体育の授業をチーム・ティーチングで実施します。
- 6組の国語、数学を習熟度別少人数制で、その他の授業をチームティーチングで実施します。